

火山名 秋田駒ヶ岳 火山の状況に関する解説情報（臨時） 第1号  
平成30年3月12日11時50分 仙台管区气象台

＊＊（見出し）＊＊

<噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）が継続>

秋田駒ヶ岳では、3月6日から低周波地震の発生が続いており、火山活動の高まりを示している可能性があることから、今後の火山活動に関する情報に留意してください。

＊＊（本文）＊＊

## 1. 火山活動の状況

秋田駒ヶ岳では、火山ガスや熱水が関与していると考えられる低周波地震が2月16日に1回発生した後、3月6日から本日（12日）まで、合計6回発生しました。

秋田駒ヶ岳で低周波地震が観測されたのは、2015年4月6日以来です。

低周波地震は概ね振幅の小さいもので、震源はいずれもカルデラ付近と推定されます。

火山性地震の回数（括弧内は低周波地震の回数）は、以下のとおりです。

なお、回数は速報値であり、精査の結果後日変更することがあります。

	火山性地震	（うち、低周波地震）
3月6日	2回	（1回）
7日	2回	（2回）
8日	0回	
9日	0回	
10日	0回	
11日	2回	（2回）
12日00時から11時まで	1回	（1回）

火山性微動は観測されておらず、地殻変動に特段の変化は認められません。

東北地方整備局が設置している監視カメラによる観測では、特段の変化は認められません。

## 2. 防災上の警戒事項等

秋田駒ヶ岳では、火山活動の高まりを示している可能性があることから、今後の火山活動に関する情報に留意してください。

山に立ち入る際には、最新の火山情報を確認してください。異常を感じたら、ただちに下山するなどの行動をとってください。

また、女岳（めだけ）周辺では噴気活動がみられますので注意してください。

火山活動の状況に変化があった場合には、随時お知らせします。

<噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）が継続>